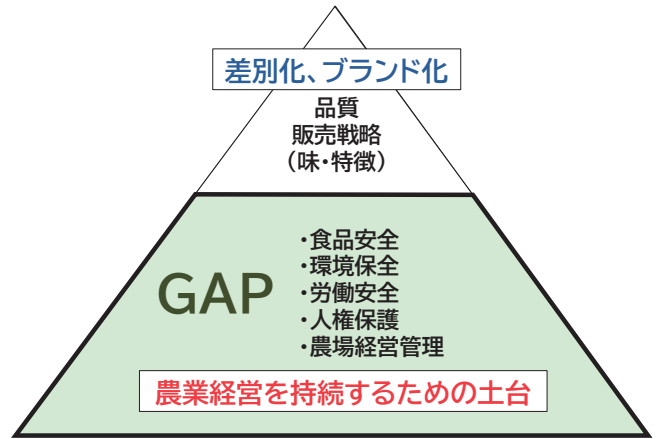


GAPとは？

Good Agricultural Practices

適正な 農業の 実践

農業経営を永く続けるために、
Badな部分をGoodへ改善する取り組み
= 「農業現場の改善活動」です。



GAPの実践（するGAP）は、重大な問題・事故が発生しないように、未然にリスク（危害要因）の低減を図る取り組みをすることです。事業者としては必須の取り組みです。
GAPの認証（とるGAP）は、取引先からの要求に応じて、必要な認証をとることです。

GAPはどんなことをするの？

国際水準GAPでは、次の5つの分野を含む取り組みをします。



食品安全に関する対策例

- ・出荷前に残留農薬検査を行う。
- ・調製作業場は整理、整頓、清掃を徹底する。



整理整頓事例

環境保全に関する対策例

- ・土壌診断等に基づく適正な施肥を行う。
- ・廃液は河川等に影響がない場所で処理する。



燃料保管事例

労働安全に関する対策例

- ・危険な場所等に表示をして注意を促す。
- ・作業に適した防護装備を着用する。



注意喚起事例

人権保護に関する対策例

- ・休憩場所の確保など、労働環境を整える。
- ・労働条件についての意見交換、適切な労務管理を行う。

農場経営管理に関する対策例

- ・責任者、役割分担を明確にする。
- ・従業員の教育訓練や内部点検を実施する。